

専門医に聞く vol.3



「筋肉の手術、OSSCS」という選択

このたびの熊本地震において被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

当院は現在、診療を通常通り行っております。皆様の安全と一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

脳卒中、脳性麻痺で起る痙攣性麻痺、筋肉のつっぱりなどの後遺症。リハビリを行っても限界がある場合の治療として、注目されている手術が「OSSCS」です。成尾整形外科病院の池田啓一先生に手術の目的と効果について伺いました。

——筋肉の緊張を緩める手術があるとうですね。

池田 麻痺を治癒させる

ことはできませんが、衣服の脱ぎ着が少し楽になる、歩きやすくなるなど、緊張を弱め、少しでも楽な状態にすることを一番の目的としています。その為に、まずリハビリを試み、改善がみられない場合は、筋肉の手術を検討します。整形外科的選択的療法(けいせい)コントロール手術「OSSCS」といって、筋肉の異常な筋緊張を弱め、緩和させる手術です。多関節筋の選択的な筋解離、目的とする関節周囲の筋解離、多方向でのバランスのとれた筋解離を行うもので、個々の症例によってそれぞれ目的があります。

——どんな手術か詳しく教えてください。

池田 この手術は、南摩整形外科病院院长・松尾先生によつて生み出された手術です。一つひとつ筋肉を確認し止血を行なうなど、非常に繊細で丁寧な技術を必要とします。特に、傷を小さくする処置の際のやけどの軽減する

身体の中の処置を丁寧に行う、手先・足先の手術の際も駆血帯を使用しないといった点に注意して行われるのが特徴です。これらの経過や結果、疼痛の程度、入院期間を左右することになります。つまり、全ての手技が手術の結果に影響する所と考えています。

池田 当院には、手術を受けるために関西や九州各地の遠方から来院される方もいらっしゃいます。そのため、入院時は、付き添いの親御さん、小さな兄弟が一緒に宿泊できるよう配慮。また、家族のご負担を軽減するためにも、入院期間の短縮に努めています。

——治療に際して大切にしていることは。

池田 治療に際して大切にしていることは、インフォームドコンセント(正しい情報)を伝えた上で(合意)をきちんと行い、患者さんの意志を尊重することです。特にお子さんの場合は入院期間が長いと家族の負担が大きくなりますが、入院期間の短縮が大切。また、段階的な手術を行うことで、身体活動や運動能力、生活の質の向上に努めています。興味のある方は当院にご相談下さい。

- 「OSSCS」の目的
- 異常な筋肉の緊張を弱め、少しでも楽な状態にする
 - リハビリをしやすくし、運動レベルの向上を図る
 - 変形や脱臼の改善・予防を図る
 - 身体全体の姿勢(座位・立位・歩行)の改善を図る
 - 筋肉の緊張による疼痛の軽減、消失を図る



成尾整形外科病院
医師 池田 啓一
プロフィール
熊本大学医学部卒業後、同大学附属病院、水俣市立総合医療センターなどに勤務。平成25年から現職。日本整形外科学会専門医(日本体育協会公認スポーツドクター)。